

# 第25回市川市特別支援教育振興大会

令和4年1月28日(金)、29日(土)の2日間にわたり、「第25回市川市特別支援教育振興大会」が開催されました。本大会は、「『自分らしく』学び『自分らしく』社会参加するために」を主題に掲げ、広く一般市民や保護者に特別支援教育の理解・啓発を図ることを目的として、隔年開催されています。



(市川市立若宮小学校 特別支援学級児童作品)

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初のオンライン開催となりましたが、動画の総再生回数は784回を記録し、例年以上に、多くの方々に市川市の特別支援教育の取組について知っていただくことができました。

東京都立矢口特別支援学校主任教諭の川上康則先生による記念講演「発達につまずきのある子の輝かせ方」は、ご視聴いただいた方々から「お話も資料もとてもわかりやすかった。」「子供と接する上での声かけのポイントや、やる気を引き出す方法等、とても参考になった。」「多くの保護者や学校関係者に見てもらいたいと思った。」などの声をいただき、大変好評でした。

【指導課】

## 教育委員学校訪問

学校の現状、児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握し、市川の教育政策等に反映させていくために、教育委員が学校を訪問し、児童生徒や教職員と交流を図っています。

昨年度は新型コロナウイルスが蔓延し、中止を余儀なくされたので、1年ぶりの訪問となりました。

11月22日(月)には、国府台病院内にある第一中・国府台小院内学級を訪問しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、教室の後ろからの参観となりました。子供たちが集中して学習をしている様子や創作物を熱心に見学されていました。

12月3日(金)には、第一中学校を訪問しました。今年度より導入されたタブレットを使用した学習の様子など、ICT機器を活用した授業の様子を興味深く参観されていました。

【教育総務課・教育センター】

ICT機器を活用した授業を参観する大高委員

## オリンピック・パラリンピックを活用した学校教育活動

2020東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、児童生徒がボランティア精神、障害者への理解、スポーツへの親しみ、国際感覚等を身に付けることができるよう、2019年から市川市立真間小学校と平田小学校の両校をオリパラ教育推進校と認定し、各種の取組を行ってきました。

## 須和田の丘フェスティバル・須和田マルシェ



今年度の須和田の丘フェスティバルは「きらめく笑顔 明るく楽しいフェスティバル」というテーマのもと開催されました。11月12日(金)に行われた学習発表会は、感染対策のためそれぞれの教室での動画視聴となりました。当日は高等部生徒会による生配信のオープニングに始まり、小学部は「心をつなごう」をテーマに低→中→高学年とカギを渡し、みんなで宝物を見つけるストーリーを演じました。中学部は1、2年生の器楽合奏、3年生の和太鼓演奏、身体表現を発表。約2か月にわたる練習の成果を見事に発揮しました。高等部は全員で「すずめ踊り」を発表。息の合った元気いっぱいの演技でした。11月15、16日は高等部作業班による「頒布会」が在校生と保護者を対象に実施され、心を込めて作った製品を手にとっていただきました。また1月13、14日にコルトンプラザホールで開催された「須和田マルシェ」(高等部頒布会)には、多数の地域の方々が登場し、生徒にとって達成感を感じる大変良い機会となりました。

【指導課】



中学部3年生による和太鼓演奏



頒布会「須和田マルシェ」入口

## 通学路の安全対策



通学路の安全確保に向けた取組を行うため、平成26年度に「市川市通学路交通安全プログラム」を策定しました。そして関係機関の連携を図るため、市川市教育委員会、市川市道路交通部、市川警察署、行徳警察署、市川市校長会連絡協議会、市川市教頭会、市川市PTA連絡協議会、首都国道事務所、ネクスコ東日本、千葉県葛南土木事務所及び市内の公立小学校、義務教育学校、私立小学校及び筑波大学付属聴覚特別支援学校、千葉県立市川特別支援学校の職員をメンバーとして通学路安全推進協議会を設置しました。

協議会では、市内の小学校を4グループに分け、4年に1回、通学路の合同点検を行っています。合同点検において危険箇所の状況を確認した上で、安全対策を行い、対策の効果が各学校が確認して安全性の向上を図っています。

今年度は、八街市で起きた交通事故を受けて、市内公立小学校・義務教育学校全校を対象に通学路の緊急一斉点検を行いました。その結果、グリーンベルトの設置が必要な箇所、塗装が薄くなった横断歩道の箇所、注意喚起看板が必要な箇所などが多数ありました。現在、関係機関で改善に向けて取り組んでいます。【保健体育課】



市川市立真間小学校では、市川市出身であるロンドンオリンピック男子フルール団体銀メダリスト三宅諒さんを迎え、「フェンシング協会学校訪問プロジェクトFunFun!FirstFencing!」を実施しました。現役選手によるデモンストレーションマッチを観戦し、間近で戦う選手の姿に圧倒された児童は、フェンシングの迫力や魅力を味わうことができました。

平田小学校では、パラリンピックに7度出場し、車いす陸上のレジェンドと呼ばれている永尾嘉草さんを迎え、パラ陸上という競技について、映像を交えての説明がありました。その後、競技用の車いす体験があり、8チーム対抗のリレーを行い、楽しみながらも車いすを操作する難しさを感じ、パラ陸上への理解を深めました。

【保健体育課】



デモンストレーションマッチの様子



競技用車いす体験の様子